

様式第1号 政務調査費収支報告書 (条例第8条①、②)

平成24年 4月20日

上ノ国町長 工 藤 昇 様

議員名 片 石 鉄 彦



平成23年度政務調査費に係る収支報告について

上ノ国町政務調査費の交付に関する条例第8条第1項(第2項)の規定により、別紙のとおり平成23年度政務調査費収支報告書を提出します。

別記様式

政務調査事業報告書

- 1 事業名 ① 第17回市町村議会議員研修会
② 小規模自治体の政策調査
③ 札幌市中央卸売市場の農産物流通調査
- 2 事業内容 ① 日時 平成23年10月25日～26日（2日間）
場所 札幌市コンベンションセンター
1日目（13:00～16:30）
記念講演 TPPと森林、林業
講師 岡本光昭氏（道森林組合連合会副会長）
TPPと林業のおかれた道、林業の果たす役割や再生のための地方自治体の役割などについて講義を受けた。外国資本による森林地の買収問題についても研究協議がされた。
実践報告 開かれた議会をめざして
講師 天神林美彦（登別市議会運営委員長）
登別市議会の取り組みの経緯について報告を受け現状、見直しについての提言を受けた。
2日目（9:10～15:10）
専科④ 知っておきたい、地方財政
講師 初村尤而氏（大阪自治体研究所、主任研究員）
地方財政の予算や決算制度と歳出の仕組み、公営企業会計の仕組み、財政の考え方と町財政のチェックポイントについての講義を受けた。
- ② 日時 平成23年10月27日（9:30～12:00）
場所 後志管内 赤井川村役場及び村内一円
説明者 赤松宏村長 多田幸夫産業課長
赤井川村の生き残りまちづくり政策について、産業課長の政策説明を受けたあと、村内一円を視察、その後、小規模自治体の生き残り町づくり政策について意見交換した。
- ③ 日時 平成24年1月24日（6:30～8:30）
場所 札幌市 丸果札幌青果（株）
説明者 田畑俊久野菜部次長
道産農産物の端境期における、札幌市中央卸売市場の流通状況と、道内産農産物の出荷状況について、視察調査し、有望な道産農産物や越冬技術などの意見交換をした。
- 3 成果 別紙報告書に記載しています。

- 注) 1 事業名には収支報告書の、2支出の科目区分により記入する。
(例～○○調査研究、○○研修、○○会議、○○地区広聴・・・等)
2 事業内容及び成果には、具体的な内容とその成果を記入のこと。

小規模自治体の生き残り町づくり政策

赤井川村は小樽市、札幌市、余市町、仁木町、倶知安町、京極町に囲まれた、カルデラの里です。総面積280平方キロメートルで8割を占める山林と、居住、農地である平野部に分かれます。主産業は農業と観光業で人口は1,231人です。平成23年の予算規模は17億2,300万円で、前年度当初予算と比べ6,200万円の増額となっており、6特別会計を含めた予算総額は19億9,790万円です。

農業に村の生き残りをかけ、5つの戦略プロジェクト施策を強力に進めています

(1) 生産基盤の整備促進

○ 優良農地の保全と土づくり対策の推進

輪作作物への景観緑肥導入支援

○ 経営合理化施設の整備促進

農業機械の効率化、合理化を図るためのリース事業の確率

(2) 足腰の強い農業の展開

○ 農業経営基盤の整備促進

経営意識の高揚と先進営農技術の導入、作業受託組織の育成及び活動支援

○ 環境に配慮した高付加価値作物の生産体制の確立

生産資材のリサイクル、家畜糞尿と木材バークによる堆肥づくり

(3) 農村観光と結びつけた農業の展開

○ 農業、農村観光の推進

農村体験ツアーの受け入れ、イベントの農産物の販売PR、農村景観づくりの推進

(4) 意欲ある担い手の育成

○ 農業後継者の育成

農業後継者の研修を充実、新規就農者を受け入れし、村独自の支援策を講ずる

(道の就農支援の他に、村の各種助成金を支給する)

(5) 農産物の流通システムの構築

産直販売の充実、地産地消の展開、インターネットによる情報発信



(赤松村長と)



(リース事業機械庫)



(村営堆肥盤)

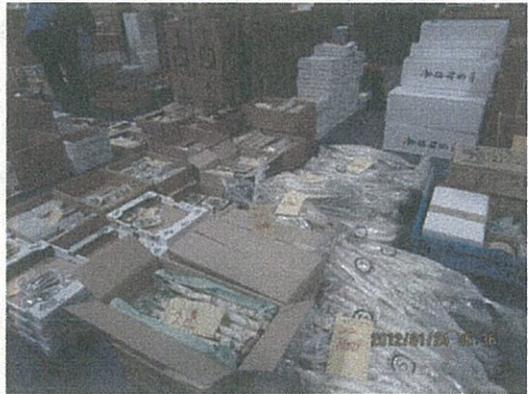


(農業研修施設)

その他、村はキロロリゾートと連携し、冬期間の観光施設への農業者の働く場の提供や、農産物などの供給をして、観光と農業を結びつけた政策を展開している。観光は水物だ、農業しかない村の強力な農業政策を、話し合いの中で強く感じた。

札幌市中央卸売市場農産物流通調査

朝6:30～田畑次長の案内で市場内の農産物の出回り状況を視察。海外物、道外物、道内物の産地について調査。道内産はキノコ類の他、土耕物では、水菜、ホウレンソウ、ニラ、軟化栽培のみつばやウド、アスパラ、ギョウジャニンニクなど少量であり、越冬野菜がほとんどであった。道産物は加温すると価格とペイしない。越冬物は雪の下から掘り出す労力がかかり、これもあまりよくない。最近一部の産地では、低温倉庫で保管して出荷する方法も考えているようだ



(軟化物の出荷状況)



(越冬物の出荷状況)

道産農産物は軟化栽培物、土耕栽培は現実の問題として、暖房費のコストを考えると拡大は困難であり、むしろ、低温倉庫などの越冬技術を確立して、端境期にコンスタントに出荷できる体制を構築した方が良くと思われる。

当日は猛吹雪のため、道産品だけ扱っているスーパーと、道産子プラザを視察、見学して帰路についた。

札幌市中央卸売市場青果部市況情報 <2012年1月24日

単位(単位:kg、安値・高値:円)

野菜	品目	産地	単位	安値	高値
	ごぼう	道内	4	704	945
	みつば類	道内	1	1050	1470
	にら(莖)	道内	0.1	95	126
	ばれいしょ	道内	10	525	1260
	ながいも	道内	10	2205	3885
	たまねぎ	道内	20	735	1890
	生しいたけ	道内	0.1	53	147
	なめこ	道内	0.1	21	53
	えのきだけ	道内	0.1	21	42
	だいこん	本州	10	735	1260
	にんじん	本州	10	735	1208
	はくさい	本州	15	630	1260
	キャベツ	本州	10	840	1785
	ほうれんそ	本州	0.35	210	336
	ねぎ	本州	5	840	1890
	セルリー	本州	10	2100	3675
	ブロッコリ	本州	4	1575	2940
	レタス	本州	10	2310	3675
	きゅうり	本州	5	2940	3780
	なす	本州	5	2940	3465
	トマト	本州	4	1050	2363
	ピーマン	本州	0.13	79	89
	かんしょ類	本州	5	0	840